

平成29年

犬山市の子どもたち

—平成29年度 全国学力・

平成29年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が、文部科学省によって行われました。この調査から見てきた、犬山の子どもたちの状況をお知らせします。対象学年は、本年度の小学校6年生と中学校3年生です。調査の内容は、国語A（知識問題）、国語B（活用問題）、算数A・数学A（知識問題）、算数B・数学B（活用問題）の2教科と質問紙による学習状況や生活の様子についての調査です。

小学校6年生 国語、算数 について



犬山市全体の国語、算数の正答率の状況（全国と比べて）

	国語A	国語B	算数A	算数B
小学校6年生	同程度	やや低い	やや低い	同程度

[小学校6年生の傾向]

国語A・Bでは、漢字を正しく読むことやことわざの意味を理解することは得意だが、漢字を正しく書くことや自分の考えを広げたりすることは苦手である。算数A・Bでは、基礎的な計算は得意であるが、数量や図形について数学的に考えたり、理解したりすることは苦手としている。

国語については、指導法の改善を進め、基礎・基本のさらなる定着を図っていくことが必要な状況である。算数については、学習内容に対する理解度や定着度を把握して、個に応じた指導が必要な状況である。また、学習の順序や教材、学習方法を子ども自身が選び、決めていく複線的な学習を進めることも必要である。

学習状況や生活の様子 について

= 児童生徒質問紙調査からの傾向を見ました。 =

【全国の子どもたちと比較してよくできている】

- ・ 家で学校の授業の復習をしている。
- ・ 住んでいる地域の行事に参加している。
- ・ 新聞を読んでいる。
- ・ 道徳の授業で学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・ 学校で友達に会うのは楽しい。
- ・ 学校の授業で自分の考えを他の人に説明をしたり、文章に書いたりすることはできる。
- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。

【全国の子どもたちと比較して努力の必要がある】

- ・ テレビやテレビゲームに費やす時間が多い。
- ・ 失敗を恐れなくて、難しいことにも挑戦することが苦手である。
- ・ 家の人と将来のことについてあまり話をしない。
- ・ 自分で計画を立てて勉強することが苦手である。
- ・ 読書好きな児童が少ない。
- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表することを苦手と感じている。
- ・ 国語の勉強に苦手意識をもっている子どもの割合が多い。



- 学校図書館の充実を図り、よりよい読書習慣を育成します。
- 自分で計画を立てて学習できる子どもの育成を図ります。
- 家庭との連携を深め、規則正しい生活のリズムを身につけます。

子どもたち

学習状況調査から—

全国の「学力（国語、算数・数学について）」と「学習状況（学習状況や生活について）」の2点について分析をしました。今回の分析は、全国との比較であり、本来の到達目標とは差があります。各学校から配布される資料とともに「犬山の子どもたち」を参考にいただきながら、お子様のご指導・ご支援の役立てていただけると幸いです。

中学校3年生 国語、数学 について



犬山市全体の国語、数学の正答率の状況（全国と比べて）

	国語A	国語B	数学A	数学B
中学校3年生	同程度	やや低い	高い	やや高い

[中学校3年生の傾向]

国語Aでは、文脈に即して漢字を正しく読んだり、助詞を適切に使うことは得意だが、事象や行為などを表す多様な語句についての理解を苦手としている。国語Bでは、自分の考えを書いたり、相手に分かりやすく伝えるように工夫して話すことが苦手である。数学A・Bともに正答率の全国平均を上回っている。

小中連携によって中学生になると伸びていく犬山市の傾向が続いている。数と式、関数について数学的に見たり、考えたりすることを苦手としている。国語・数学の授業が、生活に役立つという視点を持ち、授業の中で自分の考えを深め広げたり、根拠を考えたりする活動を取り入れていきたい。

学習状況や生活の様子 について

= 児童生徒質問紙調査からの傾向を見ました。 =

【全国の子どもたちと比較してよくできている】

- ・ 住んでいる地域の行事に参加している。
- ・ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め、整理したことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・ 授業の最後に学習を振り返る活動を行っていた。
- ・ 家で、学校の宿題をしている。

【全国の子どもたちと比較して努力の必要がある】

- ・ テレビやテレビゲームに費やす時間が多い。
- ・ 授業で学んだことをその日のうちに復習する子どもが少ない。
- ・ 自分で計画を立てて勉強することが苦手である。
- ・ 読書好きな児童が少ない。
- ・ 友達の前で自分の考えや意見を発表することを苦手と感じている。
- ・ 意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫する子どもが少ない。
- ・ 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考えることを苦手としている。

- 一人一人のよさや長所を生かした学習活動を展開し、満足感や達成感、教科の学習の面白さを味わうことができる授業を工夫します。
- 進路指導や職業体験学習（キャリア教育）の充実を図り、子どもたちが将来の夢や希望をもつことができるような取組を進めます。

